ぜんせき
THE ZENSEKI
第7629号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）
12月19日（月曜日）　2016年（平成28年）
発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

全石連政策・環境部会

人材確保・育成問題を議論

地域事情踏まえ検討

全石連政策・環境部会（佐藤義信部会長）は14日に会合を開き、SSの人材確保・育成問題について議論した。全石連と全国の石油組合が主体となって取り組んでいる人材育成事業について、これまでの事業内容・実績を報告するとともに、人材育成事業のあり方や、今後取り組むべき具体的な研修メニューなどについて検討した。会合には資源エネルギー庁石油流通課の小山和久課長と小野澤恵一課長補佐が出席した。

全石連では現在、HVなど次世代自動車の急速な普及に対応した①低圧電気取扱研修（HVの取り扱いに係る労働安全衛生法に定める特別教育）②点検・整備研修③スキャンツール（次世代自動車の整備に不可欠な故障診断装置）研修のほか、④経営者・SSマネージャーを対象とする次世代SSあり方研修会という4つの研修会を実施。今年度は延べ266回開催し、5110人が受講した。

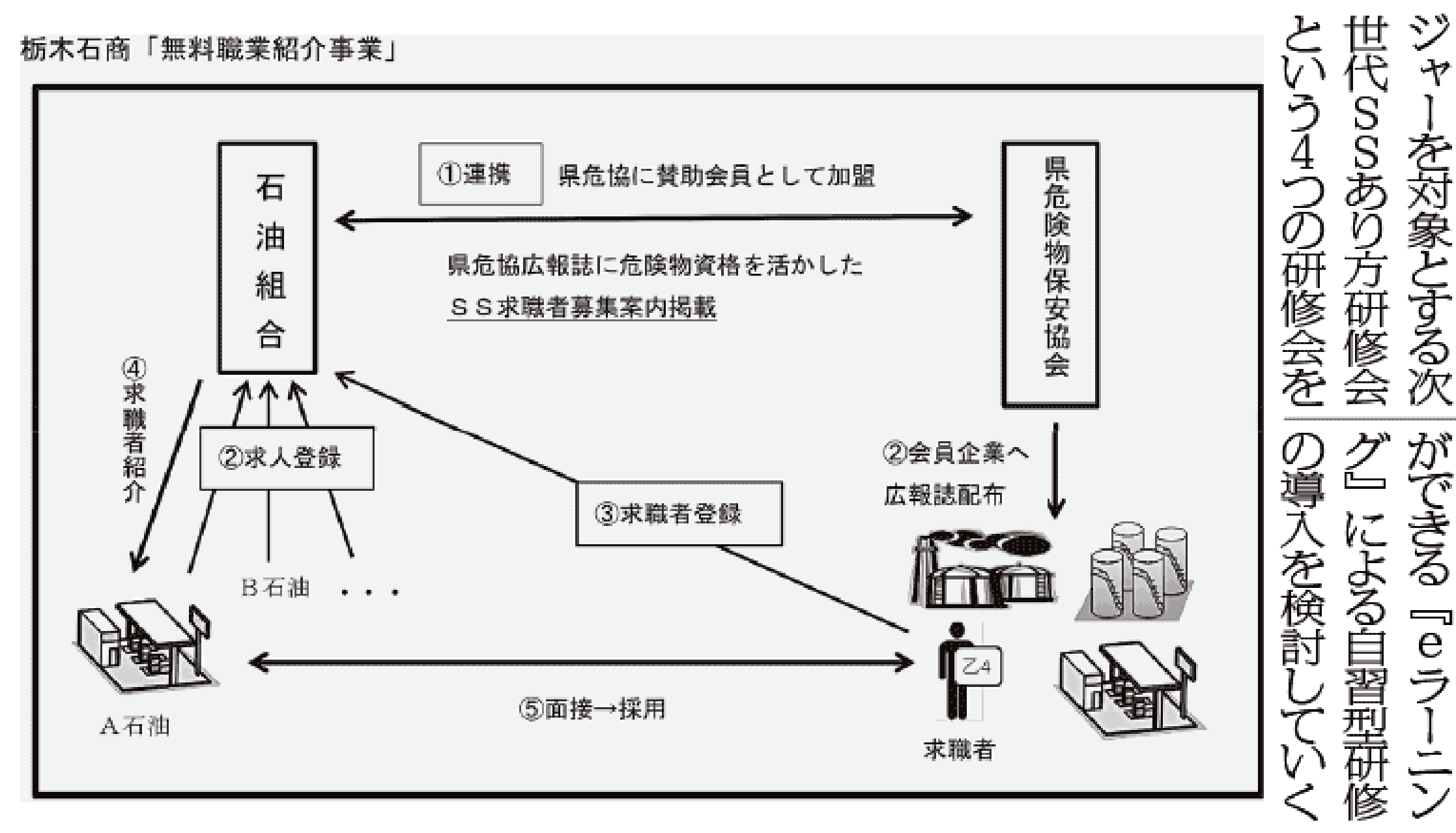
現行の研修メニューについては、SSの人手不足などから受講者数が減少傾向にあるものの、SSの生き残りには人材育成は不可欠との認識で一致。従来の集合研修に加え、SS現場にいながら学習ができる『eラーニング』による自習型研修の導入を検討していくこととした。具体的な研修メニューについても、中小企業会計や労災問題への対応、タブレットPCなど最新のIT機器研修などが提案され、引き続き検討していくこととした。

一方、人手不足と人材確保問題について、政策・環境副部会長で、環境・人材力強化・緊急時対策委員会を管掌する鈴木裕司委員長は、「経営部会委員、政策・環境部会委員にアンケートしたところ、パート・アルバイト、正社員とも不足しているところがほとんどだった」と指摘。「人手不足は地域事情も異なるので、全国ネットよりも県単位で取り組むほうが良いのではないか」と述べた。

また、小野澤課長補佐は栃木石商（村上芳弘理事長）が県危険物保安協会と連携し、危険物を取り扱う企業の退職者などを対象に組合員に無料で求職者を紹介する『無料職業紹介事業』を参考に、『人材マッチング事業』を検討していることを説明。意見交換では、人手不足などの地域事情を勘案しながら、県石単位で進めていくことが必要との認識が示された。

このほか、小山課長からは20日に開かれる石油精製・流通研究会において、ガソリンの適正取引慣行のあり方などについて議論することを明らかにした。

栃木石商「無料職業紹介事業」



15年度供給ルート別販売シェア

軽油は元売直売9.2％へ増勢

SS灯油20.4％に縮小

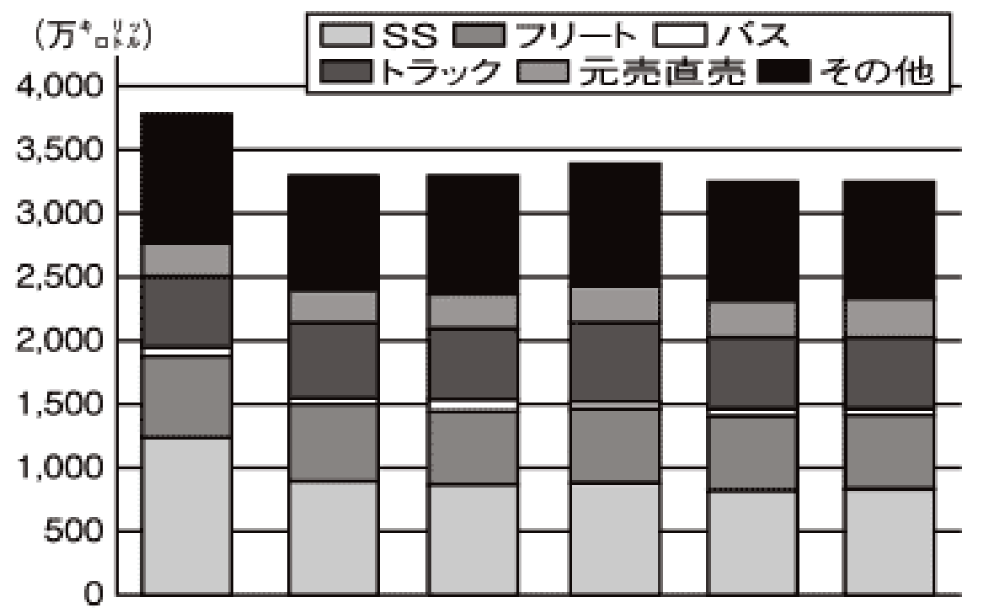
資源エネルギー庁が先ごろまとめた2015年度供給ルート別販売実績によると、軽油は前年度をやや上回り0・3％増の3274万キロリットルとなった。灯油は構造的な燃料転換の影響によって1・5％減の1704万キロリットルと、5年連続で前年実績を下回るとともに、3年連続で2千万キロリットルの大台を割り込んだ。

ルート別にみると、軽油はSSの販売量が2・2％増の846万キロリットルに増加し、シェアも0・5ポイント増の25・8％に回復した。フリートSSは1・3％減の581万キロリットル、シェアは0・4ポイント減の17・7％に減少した。元売直売は5％増の302万キロリットルで、シェアも0・4ポイント増の9・2％と、SSを除く他ルートが小幅増減に見舞われる中で、販売増が際立っている。

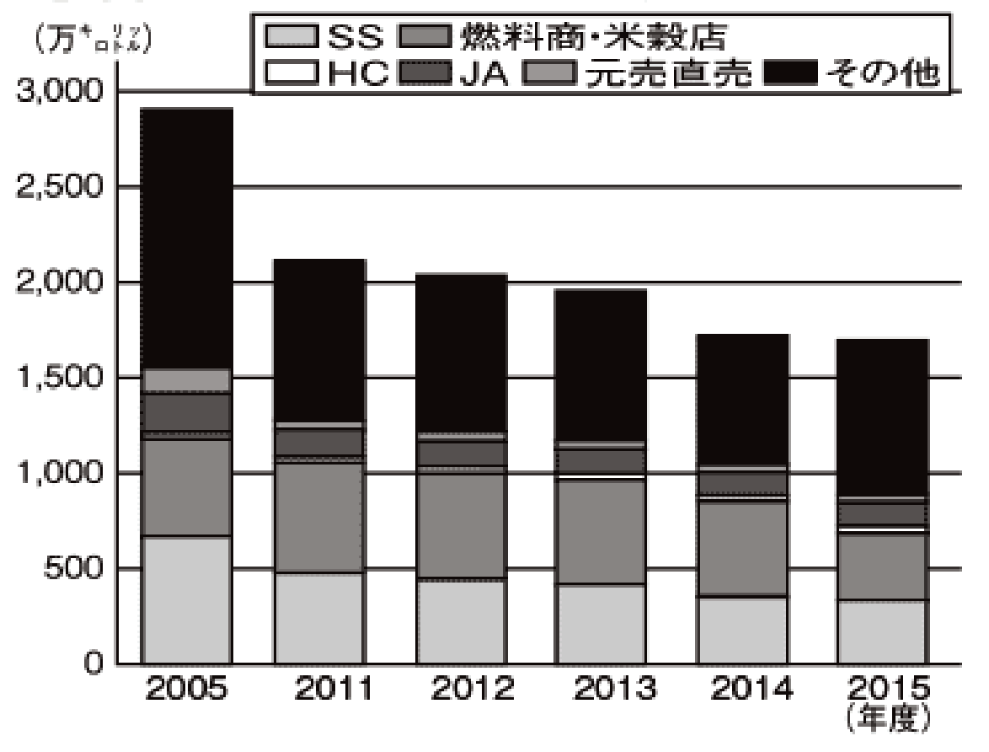
灯油は、SSの販売量が3・5％減の347万キロリットルと落ち込みが目立つほか、販売シェアも0・4ポイント減の20・4％に減少した。一方でJAは2・5％増の124万キロリットル、シェアは0・3ポイント増の7・3％となった。ホームセンターも14％増の37万キロリットル、シェアが0・3ポイント増の2・1％に膨らんだ。

10年前の05年度との比較では、軽油の需要は13・5％減少し、509万キロリットルもの需要が消失。SSの販売量は32％減と、供給ルートの中で最も需要減が大きく、シェアも7・1ポイント減となった。フリートSSは7・9％減少したが、シェアは0・3ポイント減にとどまった。また、灯油は41・3％減で、1200万キロリットルもの需要が消失。SSの販売量も48・1％減とほぼ半減レベルまで縮小、322万キロリットルの需要が消失し、SSのシェアも2・6ポイント減少した。一方でホームセンターはシェアを1ポイント増加させた。

軽油の供給ルート別販売量の推移



灯油の供給ルート別販売量の推移



長崎

“全国初”自衛隊と災害時協定

「官公需拡大」盛り込む

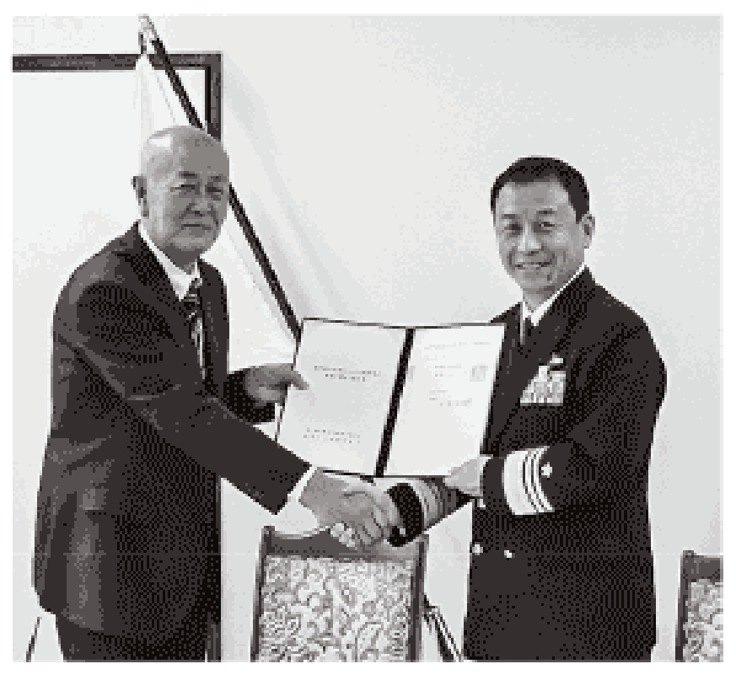
【佐世保＝長崎】長崎石協（馬渡迪裕理事長）は13日、海上自衛隊佐世保地方総監部（山下万喜総監）と「非常時における燃料の確保に関する協定」を締結した。同総監部の警備区内で災害などが発生した場合、自衛隊車両や艦船などに燃料を優先供給する内容。自衛隊と石協との燃料供給優先協定は、全国で初めて。

警備区内は福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、山口県の一部。協定では「非常事態が発生、または発生するおそれが生じ、同総監部の支援活動が必要になった場合、組合員SSは要請に応じて、緊急車両や活動拠点、艦船などに燃料を優先供給する」とした。

一方、協定では「官公需の受注拡大」について明文化。契約に関する国の基本方針に沿って、「競争性、効率性にも配慮しつつ、主としてインターネットを活用するなどして同石協の受注機会の増大に努める」とした。

同総監部で行われた調印式では、馬渡理事長と山下総監がそれぞれ協定書に署名し、握手を交わした。

あいさつで山下総監は熊本地震にも触れて、「災害時の支援活動では、被災者が必要としている様々な物資を運ばなければならないが、その際には燃料確保が重要なポイントとなる」と、協定の意義を強調。馬渡理事長は「自衛隊の災害出動に協力できる体制が強化されたということで、非常に意味がある。SS業界への理解が深まることにつながればうれしい」と述べた。


調印後に握手する馬渡理事長（左）と山下総監

論説

来年度税制改正で成果

既報の通り8日、2017年度の与党税制改正大綱が決定した。月内に閣議決定する予定だ。全石連・油政連が重点要望項目として訴えてきた農林漁業用A重油に係る石油石炭税の免税・還付制度の延長などが認められ、森林吸収源対策を理由にした石油製品への増税懸念もなくなった。組合活動の活性化や消費者の負担増の阻止などにつながる成果となった。

農林漁業用A重油に係る石油石炭税の免税・還付制度については、租税特別措置として3年間の適用期限が設けられている。現在の免税・還付制度は来年3月末で期限が切れることから、業界は4月以降の継続を求めて運動してきた。その結果、適用期限を17年4月1日から20年3月31日まで3年間延長することになった。

石油製品には12年10月1日から地球温暖化対策税が段階的に課せられており、今年4月1日に最後の増税が行われ、1キロリットルあたり760円が課税されている。しかし、この税の創設に伴い、内航運送用船舶燃料や農林漁業用軽油などについては、温対税分が還付されることになった。この適用期限も17年3月31日までが期限とされていたことから延長を要望していたもので、この還付措置も3年延長となった。

ここ数年、農林水産省などが地球温暖化防止のために行う森林整備事業の財源として、石油石炭税や温対税の使途拡大を要望してきた。毎年の税制改正ではこの扱いについて激しい議論が行われ、石油業界も総決起大会などの場で「さらなる増税につながる危険性がある」として使途拡大に反対してきた。その結果、今回の大綱には石油石炭税などの使途拡大はしない方針が明確に示された。

具体的には「個人住民税均等割の枠組みの活用も含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて検討し、18年度税制改正において結論を得る」こととなった。石油製品など特定のものに税を課すのではなく、国民が広く等しく負担するような仕組みの新税の創設を、来年の税制改正で議論し、結論を出すこととしたものである。

全石連と油政連は、消費者の石油に係る税負担の軽減に向けて運動してきたが、一定の成果が得られたことになる。業界が一体となって取り組んだ結果である。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のＦＯＢ平均値）　（円／Ｌ）

適用期間	原油	ガソリン				灯油		軽油		A重油
土～金曜		指標	先行	外販	TOCOM	指標	TOCOM	指標	TOCOM	指標
2016年11月（前月比）	▲1.07	▲0.9	0.8	3.1	▲1.0	5.1	2.1	2.8	1.6	1.2
12／１週	2.91	1.3	1.0	2.0	0.7	2.6	1.3	0.9	1.2	0.7
２週	0.99	1.8	▲1.5	2.5	2.8	1.9	2.9	1.4	1.8	1.3
３週	3.41	2.3	2.0	2.0	1.1	3.4	2.2	2.7	0.0	2.6
前週実勢値	37.14	100.1	99.8	---	102.7	52.8	54.4	47.1	46.0	42.0
前週標準仕切り推計	---	105.9	104.9	---	105.2	58.6	56.9	52.9	48.5	47.8
４週	1.84	1.2	3.0	2.0	▲0.3	1.8	▲0.2	1.5	0.0	1.5
当週実勢値予測	38.97	101.3	102.8	---	102.4	54.6	54.1	48.6	46.0	43.5
最近値	38.87	101.4	102.8	---	102.4	54.6	54.1	48.9	46.0	43.6

原油コスト1.8円上昇

5週累計10.3円高、転嫁不可避に

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比リットル1・8円上昇した。5週連続の値上がりで累計10・3円高、今年最大の上げ幅となる。原油高に加え、米国の金利上げを受け、円安が進み国内向けの原油コストは上昇。16日の東商取ドバイは前日比0・31ドル高のバレル51・69ドル、円建ては0・4円高の38・4円となった。

国内のガソリン陸上卸も堅調。首都圏SS届けで102・7円水準。16日のガソリン先物は前日比で海上0・2円高の102・4円、陸上は102・3円で変わらず。一方、系列仕切りは今週にかけて1・5～3円の値上げ。上昇幅の大きい出光・昭シは3週累計で7円高に達する。これを受け、年末商戦が迫る小売市場は遅れ気味のコスト転嫁が緊急課題となっている。

◇　◇

販売業者筋によると、コスモ先行は16日から全油種で2・5円値上げ。

また、EMG外販は17日から前日比で全油種2円値上げした。

木村石連会長会見

当面は油価55ドル中心

石油連盟の木村康会長は15日の定例記者会見で、資源エネルギー庁の石油精製・流通研究会について、「製油所の設備最適化など、生産性向上および競争力強化に向けた各社の取り組みを支援する方向で検討されることを期待している」と改めて述べた。

また、エネルギー供給構造高度化法の第3次告示の取り扱いについて、元売再編後の各企業の将来ビジョン・成長戦略などが明確になっていない中で、直ちに新たな告示を策定することに疑問を呈したうえで、第3次告示を検討していく場合には「競争力強化は個社の経営判断に基づき、戦略を立てて行うことが前提で、その戦略をどうアシストするかに主眼に置くべき」との考えを示した。

OPEC・非OPECの減産合意で上昇傾向にある原油価格に関しては、「油価が上昇すれば、米シェールオイルの増産が起こる。また、米国の利上げによりドル高が進めば、ドルで取引されている原油の割高感につながり、油価の上値を抑えることとなる」と指摘し、「当面は55ドルを中心に安定的に推移する」との見通しを示した。

コストコ

関東初進出のつくばSS

本開所でG2円下げ

【つくば＝茨城】コストコホールセールジャパンは15日、茨城県つくば市内の「つくば倉庫店」に関東初進出となるセルフSSをグランドオープンした。販売価格は10日の仮オープン時点から全油種を値下げし、レギュラー110円、ハイオク121円、軽油85円、灯油59円を表示した。下げ幅はガソリンと灯油が各2円、軽油は3円。

Self Serve
本日のガソリン価格
¥110/L
¥121/L
¥85/L
¥59/L

当日は強風が吹き荒れる中、大勢の来店客が押し寄せ、給油レーン16台分すべてが埋まる場面も見られた。SSもスタッフを多く配置し、2500円以上の給油客に軽食と景品を配布していた。

つくば市内のレギュラー市況は120～4円が中心で、周辺の地場業者からは圧倒的な価格差を疑問視する声が早くも高まっている。

ポンプあ・い・ら・ん・ど

▼通勤経路の途中にある、新木場駅から見える夜景が大のお気に入りだ。暗闇の先に浮かび上がる都内の高層ビル群や東京スカイツリーが煌々と輝く姿は美しく、眺めているだけで、仕事で溜まったストレスが発散でき、明日への活力につながっている▼毎年、全国夜景サミットというイベントが行われているが、昨年は日本新三大夜景として長崎市、札幌市、神戸市を選定。10月発表された夜の美しい灯台ランキングでは、ベスト10の1位に江の島灯台（神奈川県藤沢市）が選ばれ、2位の高松港玉藻防波堤灯台（高松市）、3位の角島灯台（下関市）を加え、日本三大夜灯台として認定した。今後もこうしたイベントを通じ、夜景観光を積極的に推進していくという▼夜景鑑賞を楽しむ動きは年々、各地で広がりをみせている。冬の風物詩となっているイルミネーションだけでなく、城郭や遊園地、公共施設のライトアップが当たり前のように行われ、近年では工場などの夜景ツアーも話題にのぼるようになった▼SS業界における経営環境の厳しさはいまさら言うまでもないが、災害時の安定供給など地域からの期待は大きい。住民拠点SSの整備に向けて自家発電機導入の事前申請がスタートした。制度を有効活用して、これからも地域の星として、昼間でも輝き続けてほしい。

きょうの紙面

2面　ぜんせき10大ニュース⑦
■ＤＡＴＡコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　東京版・警視庁招き暴排対策／愛知版・県警から石商へ感謝状
4面　中国版・広島・県外業者の安値に呆然／市況概況

スピードもクオリティ
これまでの1WAY機では、スピード性は単なる処理能力というメリットしかありませんでした。「隼」はそのスピードを洗車のクオリティを高める方向にシフトし、開発技術を集中させ全てのコースでハイクオリティな洗車を実現しました。仕上がりを求める方にも、短時間での洗車を求める方にも対応したドライバー満足度を勝ち取る洗車機です。

余裕の処理能力がドライバーを満足させる！
今、セルフ洗車の歴史が動く！

コース別動作比較
ウォッシュコース
シャンプー コース
セルフ洗車機 1.5往復 最速設定 約1分35秒
旧1WAY洗車機 0.5往復 最速設定 約1分35秒
HAYABUSA 0.5往復 最速設定 約59秒
FK-2コース
FK-2 HYPERコース
（コーティングコース）
セルフ洗車機 1.5往復 標準速度 約3分50秒
旧1WAY洗車機 1.5往復 標準速度 約3分50秒
HAYABUSA 0.5往復 標準速度 約2分35秒
コーティングコースも時間を短縮

洗車工程比較イメージ　選択コース FK-2 HYPERコース　追加オプション 高圧ジェット＋泡
一般的なセルフ/1WAY洗車機
高圧ジェット　泡　FK-2 HYPER
一般的な洗車機では、基本コースにオプションを追加すると洗車工程が上乗せされ洗車時間も余分にかかっていました。
HAYABUSA
高圧ジェット＋泡　FK-2 HYPER
短縮した時間を利用
・処理台数を上げる
・さらにオプション追加し洗いを徹底強化する。
HAYABUSAは基本コースの時間が短縮したうえに、オプション工程も短縮する事が可能となり、大幅な時間短縮ができるようになりました。

1WAYコーティング ドライブスルー洗車機
HAYABUSA
～はやぶさ～

Beauty ビユーテー株式会社
■本社　名古屋市港区木場町2番地
TEL 052-692-2101（大代表）
http://www.beauty.gr.jp
ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格 ISO14001 の認証を取得しています。
洗車機製造部門タケウチテクノは品質管理に関する国際規格 ISO9001 の認証を取得しています。
E&I Ecology & Innovation
■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店

'16 ぜんせき 10大ニュース

7 原油価格動向

OPEC8年ぶり減産合意

来年は「トランプ相場」の様相に

11月30日、OPECはウィーン本部で開いた総会で、原油生産を減らすことで合意した。OPECの減産合意は、WTI原油が147ドルという過去最高値を記録した直後のリーマンショックにより急落、40ドル割れとなった原油市況の建て直しのために2008年12月に合意して以来、実に約8年ぶりで、非加盟のロシアなども同調を決め、米国を除く主要産油国が揃って低迷する原油価格の押し上げを目指す形となった。

原油相場は、CIFベースで11年3月～14年10月までの44ヵ月間連続で100ドルを超え、産油国の財政を潤した。ところが、米国シェール対OPEC・ロシア、OPEC内でもサウジアラビア対イランという構図が鮮明化した。さらに中米が牽引した世界経済の成長鈍化が重なり、「相場維持よりもシェア拡大を巡る産油国間のチキンレース」の結果、16年2月11日にはWTIは26・11ドルという安値を付けた。この結果、16年平均の円建ての原油価格は、現時点で04年以来、12年ぶりに安いリットル28円前後となっている。

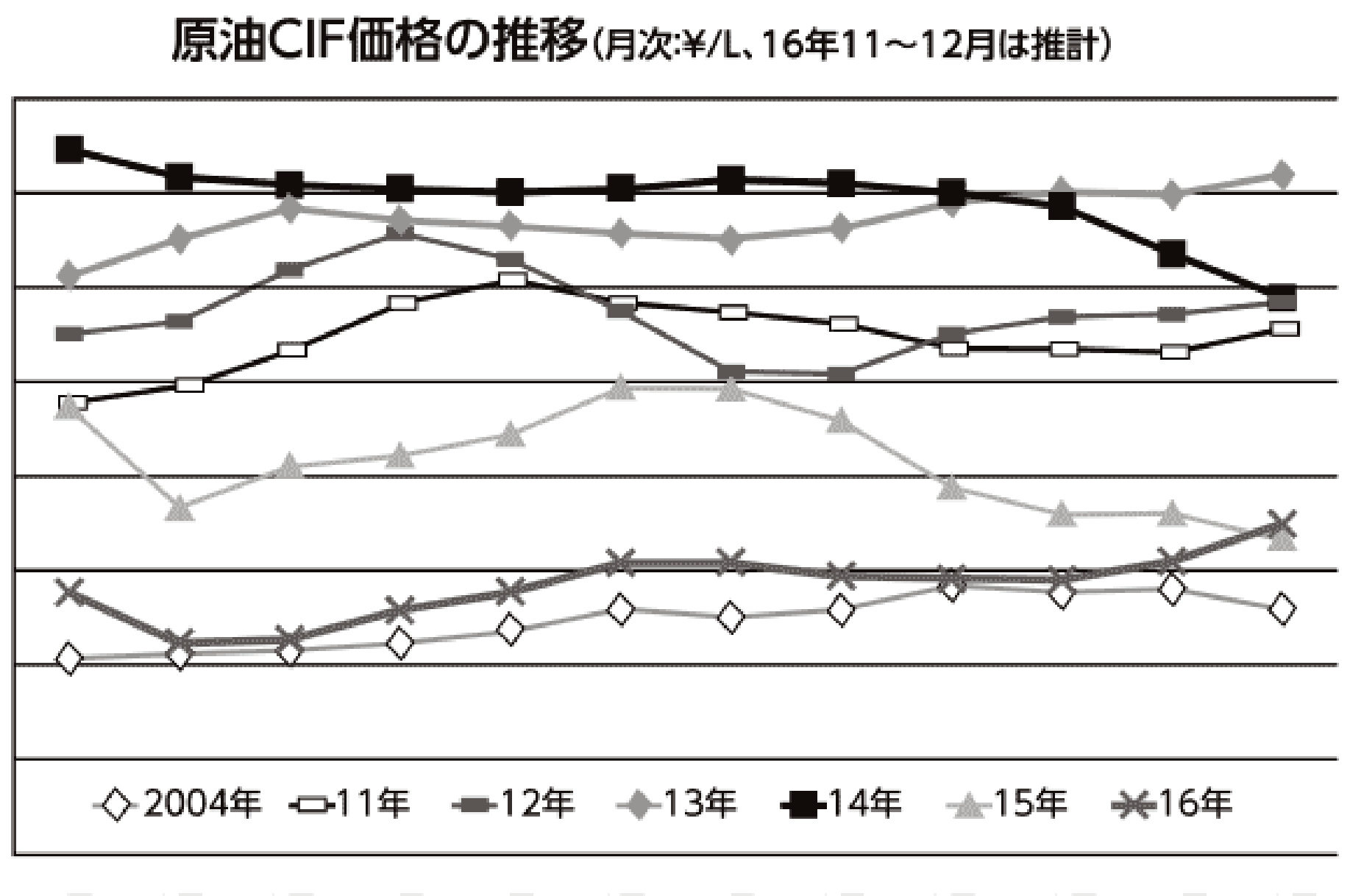
サウジ、ロシア、米国という3大産油国の原油生産量を各日量1千万バレルとすると、バレル100ドル原油だった時代に年3650億ドル（約37兆円）あった石油収入が、30ドルでは1100億ドル（12兆円）に減少することとなり、「今回の手打ちとなった」と解説される。今回の減産合意により、WTIは50ドル台を回復、近況は1年5ヵ月ぶりの高値水準にある。

日量120万バレルの減産という減産がどこまで相場維持に有効に機能するのか。石油連盟の木村康会長は「今後の原油価格は55ドルに向かって堅調に推移する」としている。しかし、今回の減産合意の基準とされているOPECの10月生産量は3382万バレルで、ここからの減産120万バレルを引くと約3260万バレルとなる。これは今年1月のOPEC生産量と全く同じ水準で、「OPECとロシアの両者を合わせた生産量を今年1月の水準まで戻そうということであり、これが持続的な価格上昇に向けた刺激として十分なのかどうかという疑問が残る」とみる向きもある。

また、最近の原油安の主役を担った米国などのシェールも、採算割れで休止した掘削リグが、より採算性を高めて再び稼働を開始するシナリオがあり、「相場（上昇）のふたとなる可能性が大」という。

さらに、世界市場は全般的にトランプ次期米国大統領の経済対策期待で株高とドル高が過熱気味だが、年明け1月20日の就任直後にTPPからの離脱を表明することを明らかにしているほか、中国やメキシコへの厳しい対応も予見される。シェールを含む化石燃料利用を促進させる政策など、世界経済の成長とドル相場の波乱要因となりそうな情勢がある。17年の原油相場の主役はOPECでもロシアでもなく、トランプ大統領となりそうだ。

原油CIF価格の推移（月次:¥/L、16年11～12月は推計）



中小SS存続へ支援を

都知事ヒアリングで要望

東京

東京石商（矢島幹也理事長）は14日、都庁で開かれた「東京都予算に対する知事ヒアリング」に招かれ、過当競争による経営逼迫で減少が続く中小石油販売業者・SSに対し、事業存続を支援する予算措置を強く要望した。

冒頭で小池百合子知事は「特許庁近くのSSを利用していたがコンビニに変わってしまった。経営環境が厳しい中、ロケーションを考えるとSSは大きな役割を担っていると認識している。災害時にも安定供給できるよう取り組んでいる皆様に敬意を表したい」とあいさつ。一方、矢島理事長は「平時はライフラインである石油製品の安定供給を担い、災害時には緊急車両への燃料供給や帰宅者支援など、都民の生活を守っているとの自負に燃えて業務に邁進している」と訴えた。

要望では、経営逼迫の要因として発券店値付けカード問題や不公平な取引慣行を挙げ、SS店頭への防犯カメラ設置、VOC排出抑制問題に対する支援、水素ステーション併設時の規制緩和などを訴えた。これに対して小池知事は、業転格差などでSS業界が過当競争に陥っている窮状に理解を示したうえで、防犯カメラ設置については「どこまで公費でみるのか線引きしていきたい」、水素STに関しては「あらゆるエネルギーの総合的ステーションの役割を果たしていただけないかと以前から考えている」との見方を示した。

なお、当日のヒアリングでは他の業界団体からSS業界にも関連する要望があり、都商工会連合会は「離島ガソリン流通コスト支援事業」の恒久措置化や、大規模小売店が地域社会貢献に対する責務を果たすように指導するよう求め、都中小企業団体中央会は東京オリンピックを契機にビジネスチャンスが拡大することを見込んで、官公需適格組合など事業協同組合の積極活用、都内中小企業の受注機会拡大を要請した。

小池知事に要望書を手渡す矢島理事長（左）

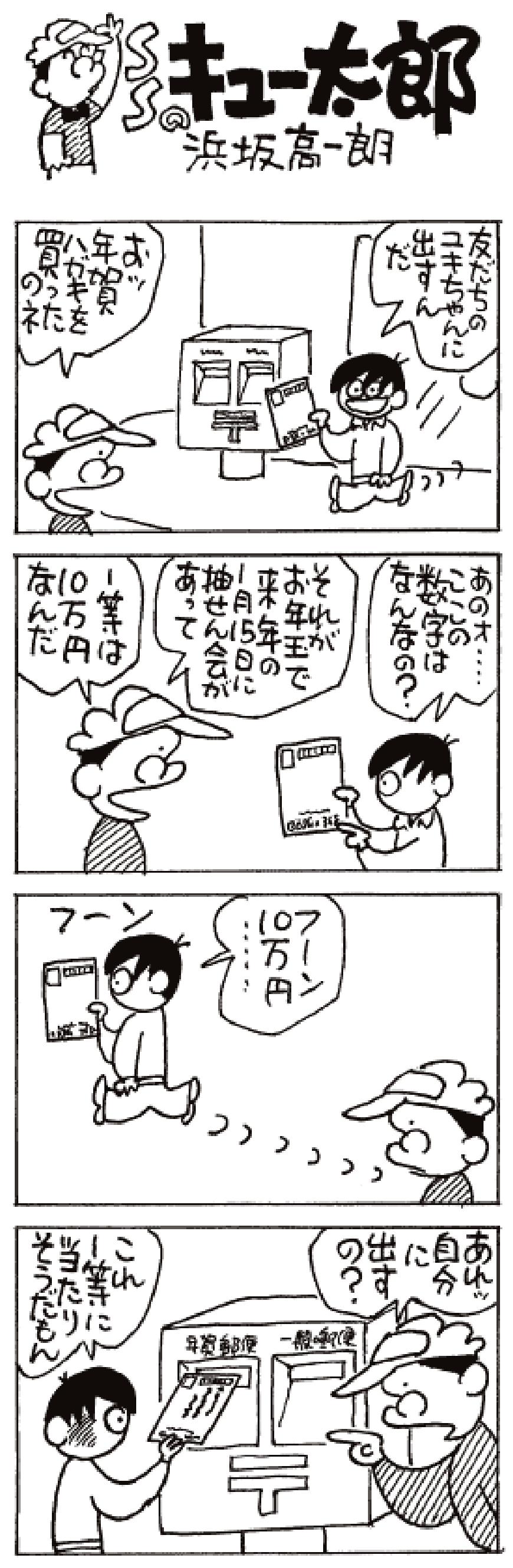
福島石商 SSまつり 沖縄旅行の当選者決定

福島石商（根本一彌理事長）は13日、郡山石油会館で、SSまつり「元気ガソリン満タン！安心灯油はやっぱりお得！キャンペーン」の抽選会を開催し、沖縄旅行招待者28人の当選を決めた。

同キャンペーンはSSまつりに参加する元気ガソリン推進加盟店の販売促進、県民への満タン給油の周知、他のエネルギーと比べた灯油の優位性・安全性・経済性の周知を目的として、227SSが参加し10月5日から11月30日まで実施した。参加SSではガソリン、灯油などの石油製品を5千円以上購入した来店者に応募はがき1枚を進呈、今回は5357通の応募があった。

抽選会では根本理事長、東海林功SSまつり実行委員長らが応募はがきの中から28人を選んだ。沖縄旅行は来年1月26～28日（2泊3日）に実施する。（郡山発）

SSまつり
元気ガソリン満タンキャンペーン
抽選会
沖縄旅行招待者の抽選を行った根本理事長（右から2人目）ら


キュー太郎
浜坂高一朗
友だちのユキちゃんに出すんだ
おッ 年賀ハガキを買ったのね
あのオ…この数字はなんなの？
それがお年玉で来年の1月15日に抽せん会があって
1等は10万円なんだ
フーン
フーン 10万円……
あれッ 自分に出すの？
これ1等に当たりそうだもん
年賀郵便
一般郵便

明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

茨城 "かけこみ110番"で実地訓練

【水戸】茨城石協社会貢献対策事業委員会（布市勝委員長）は先ごろ水戸市内で県警察や県教育委員会などと連携し、かけこみ110番の実地訓練を実施した。訓練では下校途中、県警察が扮する不審者の小学生を強引に連れ去ろうとする中、参加した生徒は大声を上げて近隣の川又（川又信也社長・JX系）ニュー内原SSに駆け込み、従業員に助けを求めた。訓練には大手一般紙も取材に訪れ、関心の高さをうかがわせた。

布市委員長は冒頭あいさつで、小学生に対して「不審者を見かけた時だけでなく、おなかが痛くなった時でもSSに駆け込んで大丈夫。スタッフが警察や家庭への連絡など対応するから、安心してほしい」と強調した。

茨城は今年度もかけこみ訓練を実施した

ガソリンスタンドにおいて困ったときの「かけこみ110番」
かけこみ110番

静岡・西部会 法令順守の徹底を

【浜松】静岡石商西部会（鈴木裕司部会長）は先ごろ開いた会合で、「住民拠点SS」の概要と注意点、選定基準などを説明し、詳細発表後に改めて事務局から組合員に報告するとした。また、来年7月に県西部地域へ出店予定のコストコに対しては、茨城県への新規出店に対する周辺SSへの影響などを情報収集し、今後の対応策に生かすことを確認した。

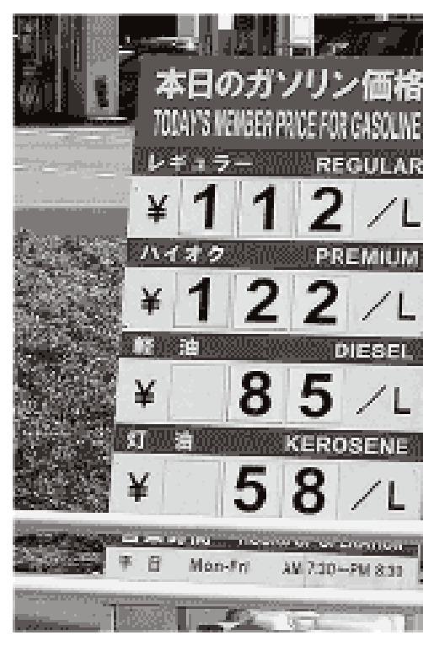
鈴木部会長（写真）は「西部地域の環境は安定している。ガソリン販売が減少する中で、関連商品の販売や新規事業への取り組みなどを考えなければならないが、口銭を確保することを基本にSS事業に取り組むことが重要だ」としたうえで、「最近、SSへのクレームが問題視されている。年末に向けて繁忙期に入るが、法令順守のさらなる徹底を心がけてほしい」と述べた。

コストコ岐阜羽島店 公取委へ申告

岐阜

【岐阜】岐阜石商（澤田栄理事長）は14日、コストコホールセールジャパン（本社・川崎市）が岐阜県羽島市で営業するSSのガソリン・軽油・灯油の販売価格に不当廉売の疑いがあるとして、公正取引委員会に調査依頼を申告した。同石商によると、当日時点の価格はガソリン112円、軽油85円、灯油58円で、石油情報センター発表の岐阜県平均（ガソリン130円、軽油110円、灯油69円）を大きく下回っており、不当な安売りだとしている。同石商のコストコに対する公取委への調査申告は8回目。これまで6回分について判断が示され、うち2回はコストコに注意処分が下されている。

岐阜石商が不当価格とするコストコ岐阜羽島SSの看板



J本田 灯油上げ69～71円

ジョイフル本田の運営する8SS（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（NT）店、千葉店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）は16日、灯油を全SSで値上げし、新田が71円、千代田、宇都宮、幸手が70円、千葉3SSと瑞穂が69円とした。70円台を付けたのは昨年7月3日以来、約1年5ヵ月ぶり。上げ幅は新田、千葉3SS、瑞穂が3円、千代田、宇都宮、幸手が2円。

レギュラーガソリンは全SSで据え置き、新田が119円、宇都宮が118円、千代田、幸手、瑞穂が117円、千葉3SSが116円。軽油も全SSで据え置き、新田、宇都宮が92円、千代田が91円、他5SSが90円。

山梨・都留 HC灯油60円割れに困惑

【都留＝山梨】原油高騰を受けて山梨県内でも灯油価格が上昇し、店頭でリットル70円以上が増えてきたが、都留市内ではホームセンターが60円割れを打ち出しており、周辺SSを圧倒的に下回る値付けに対し、地場業者は困惑を深める。

過当競争は都留市内にとどまらず、周辺の市町村でもみられることから、卸価格体系のあり方を疑問視する声が強まっている。

都留市内で11月中旬にホームセンターがグランドオープン。当初は開店記念セールとして50円を掲示していたという。その後値上げしたものの、16日時点でも56円で、近隣のスーパーマーケットが同値で対抗中。周辺の販売店社長は「その看板を見た取引先から、当店は値段が高いと指摘されたが、仕切りは税込み60円以上なので、とても打ち出せる価格ではない」と困惑する。

灯油の過当競争は都留市内にとどまらず、隣接する大月市内にも影響を及ぼしている。市内の販売店社長は「ジョイフル本田のようなPB系大手でさえ70円台まで上昇したのに、なぜ50円台という値段でできるのか不思議だ」と疑問視する。

ガソリン市場と同様の過当競争が灯油でも繰り広げられている現状に対して、都留市内の販売店社長は「灯油で利益が取れないなら、一体なにで食べていけばいいのか。せっかくの季節商品を投げ売りするのはおかしい」と、消耗戦を強く牽制している。

灯油
18L 1008円 1L 56円
リットル60円割れの灯油価格を掲示する山梨県都留市内のホームセンター

灯油卸高騰で買い控えも

不安募る近畿業者

仕入価格が値上がりしている今冬灯油市場で、販売業者から「いまの灯油市場がわからない」との声も上がっている。仕入れの高騰局面が続き、業者は「灯油に買い控えがみえる」との懸念が広がり、元売の灯油政策に首をかしげる。セルフSS店頭価格は税込み18リットル1200円前後と推定されるが、業者は「これでは商売にならない」という。仕入れが上がりながらも、需要が伸びず、苦戦を強いられているのが現状だ。

「先々週末から冷え込みが厳しくなった。いまが正念場なのに思ったほど売れない」と意欲的な業者は需要減退を気にする。また「需要のことを考えるなら、元売には配慮してほしい」と、仕切り値上げに疑問を投げかける業者もいるほか、「これからクリスマスまでが需要底上げの時期」と期待する声も聞かれる。（大阪発）

31日から配達 灯油13円上げ

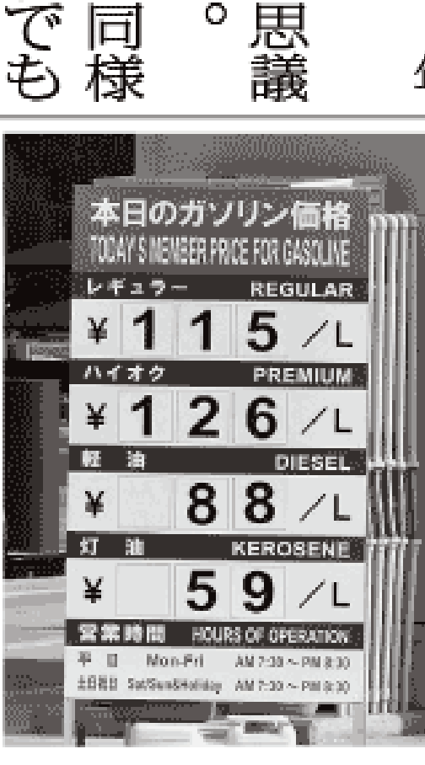
宮城県生協連

【仙台】宮城県生協連は31日から配達灯油価格をリットル13円上げて、お任せ給油で75円（18リットル1350円）、個缶を76円（1368円）とする。

各油種ともに2円アップ

コストコ富谷店

【富谷＝宮城】コストコ富谷倉庫店は15日から各油種をいずれも2円値上げし、レギュラー115円、ハイオク126円、軽油88円、灯油59円とした（写真）。


本日のガソリン価格
TODAY'S MEMBER PRICE FOR GASOLINE
レギュラー REGULAR ¥115／L
ハイオク PREMIUM ¥126／L
軽油 DIESEL ¥88／L
灯油 KEROSENE ¥59／L
営業時間 HOURS OF OPERATION

DATAコーナー

■石油先物市場・12／16

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜海上：１枚＝50ＫＬ）　中京石油市場（伊勢湾油槽所：１枚＝20ＫＬ）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
（前日出来高884枚）		ガソリン	（前日出来高1枚）	
48,610	△210	①限月	48,500	0
49,400	△300	②限月	49,000	0
50,490	△340	③限月	50,400	0
51,760	△270	④限月	52,410	0
52,650	△230	⑤限月	52,790	0
53,340	△370	⑥限月	53,000	0
（前日出来高533枚）		灯油	（前日出来高2枚）	
54,130	△140	①限月	54,300	0
53,090	△370	②限月	53,200	△700
51,210	△140	③限月	51,500	△530
49,680	△430	④限月	49,500	0
48,190	△380	⑤限月	48,500	0
48,130	△360	⑥限月	48,000	0
（前日出来高-枚）		軽油		
46,000	0	①限月		
46,000	0	②限月		
46,000	0	③限月		
46,000	0	④限月		
46,000	0	⑤限月		
46,000	0	⑥限月		

原油指標

			前日比
国内指標	＄／Ｂ	51.81	（▲1.13）
	￥／ＫＬ	38,839	（▲694）
ＷＴＩ	＄／Ｂ	50.90	（▲0.14）
	￥／ＫＬ	38,157	（△43）

今週の指針

12月19日～25日　強運日＝19、20、23　吉方位＝東

運命アドバイザー　北 秀一

1月生	運気が弱くチャンスがない。見通しが暗く苦労する。愛情運弱い。
2月生	情勢不安定で油断できない。軽率な行動は禁物だ。金銭運不安定。
3月生	運気安定して期待できる。積極的に行動して結果吉。愛情運強い。
4月生	情勢まずまずで成果も上がる。自信持って行動せよ。愛情運強い。
5月生	運気やや不安定で見通し暗い。軽率な行動は慎もう。愛情運弱い。
6月生	情勢明るく落ち着いている。自信持って行動しよう。金銭面普通。
7月生	運気まずまずで見通し明るい。冷静に行動して吉。愛情運も良好。
8月生	情勢不安定で油断できない。軽率な行動は慎もう。金銭運も弱い。
9月生	運気安定せず情勢不安定。冷静に行動する必要あり。愛情運弱い。
10月生	情勢暗く先行き期待できぬ。軽率な行動は禁物だ。金銭運も弱い。
11月生	運気不安定でチャンス少ない。軽率な行動は慎もう。愛情運弱い。
12月生	運気強く好機に恵まれよう。自信持って行動し結果吉。金運強い。

月生早見表

- 1月生＝1月5日～2月3日まで
- 2月生＝2月4日～3月4日まで
- 3月生＝3月5日～4月4日まで
- 4月生＝4月5日～5月4日まで
- 5月生＝5月5日～6月4日まで
- 6月生＝6月5日～7月6日まで
- 7月生＝7月7日～8月6日まで
- 8月生＝8月7日～9月6日まで
- 9月生＝9月7日～10月7日まで
- 10月生＝10月8日～11月6日まで
- 11月生＝11月7日～12月6日まで
- 12月生＝12月7日～1月4日まで

全石連の
リサイクル トナーカートリッジ
業界最長クラスの18か月保証　送料無料・不要カートリッジ回収無料
日常業務の必需品であるトナーカートリッジを豊富にご用意。全メーカー取り扱っています。
canon
EP-32 ￥5,000
EP-65 ￥6,400
印字枚数 2,000 枚
カートリッジ 303 ￥3,800
印字枚数 3,500 枚
カートリッジ 303（大容量） ￥5,000
カートリッジ 509 ￥7,100
カートリッジ 510Ⅱ ￥7,700
カートリッジ 515Ⅱ ￥8,600
canon
印字枚数 6,400 枚
カートリッジ 519Ⅱ ￥5,600
印字枚数 8,300 枚
カートリッジ 519Ⅱ（30%増量） ￥6,500
RICOH
IPSiO SP3400H ￥5,500
EPSON
LPA4ETC8 ￥5,600
OKI
TNR-M4A ￥3,800
TNR-M4B（プール品はじめました） ￥4,700
※価格はすべて税別
ご注文・お問合せは
最寄の石油組合または全石連共同事業グループ
☎03-3593-5841

小さくなって、使いやすさアップ。
マルチフェイスLOW typeは、高さをおさえたコンパクト仕様。
低い背丈でも届く給油範囲を確保し※、
ノズルも取り回しやすくなりました。
さらに、コンパクトなLOW typeなら、開放感ある広々としたSSを演出。
多彩な機能に高い操作性をプラスした人にやさしい一台です。
※当社従来モデル（LOW type）より10%アップ
TOKICO
MULTIface
マルチフェイス
HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社　〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-9-27　TEL.045-504-7580　http://www.hitachi-automotive-mm.com

東京

関東支局
03（3593）5757
（千代田区永田町2-17-14 石油会館）

警視庁招いて暴排対策学ぶ
安心な社会づくりに協働

事故や犯罪の予防対策を再確認したい年末年始。東京石商（矢島幹也理事長）は先月開いた理事会に先立ち、警視庁組織犯罪対策第3課の山田敏彦管理官（写真）による「最近の暴力団情勢と排除対策」を聞き、安全安心な社会づくりに向けて連携を深めていくことにした。

山田氏は、2007年の政府指針に基づく「企業活動からの反社会勢力の排除」（暴力団排除条項）を契機に〝警察対暴力団〟から〝社会対暴力団〟の構図に変わり、11年の都暴力団排除条例による「交際しない」「利益供与の禁止」なども奏功し、暴力団員が減り続けていると説明。

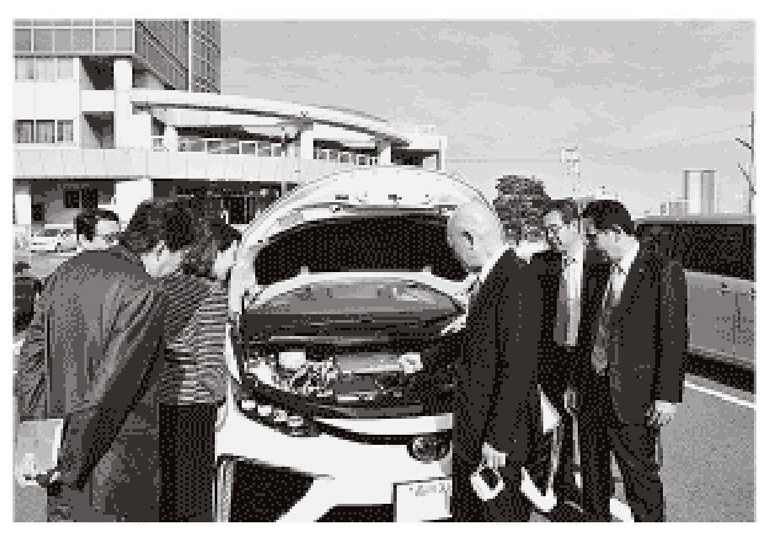
一方、手口は多様化・巧妙化。昨年検挙した約5千人中、恐喝は4％、詐欺が16％で、特殊詐欺では過半が暴力団関係者だったなど、振り込め詐欺が暴力団の新たな資金源となっているとしながら、暴対法の使用者責任が初適用された事例を解説した。

また同氏は、具体的に対応する際の基本的な心構えとして①暴力団は引き下がる②メンツは潰さない－と例示し、「暴排条例をよく勉強しており、最初に毅然とした態度で断ると、拍子抜けするくらい簡単に引き下がる」としつつ、「メンツを潰すようなことはしない」などと助言。情報提供などの協力を要請するとともに、気軽に個別相談してほしいと呼びかけた。

都石の年末年始業務

▽事務局業務＝28日午後5時まで、年始1月5日午前9時から▽産業廃棄物処理＝含油汚泥・含油汚泥以外28日、1月5日（年内回収可能受付19日）▽廃タイヤ処理事業＝30日、1月6日（同19日）▽使用済みバッテリー回収事業＝29日、1月6日（同28日）▽給油所保安点検＝22日、1月5日▽地下配管・タンク等定期点検＝22日、1月5日▽計量機検定＝22日、1月5日▽資材関係＝国産ロール紙および洗車用タオルの年内納品受付は26日午前、輸入ロール紙は21日。出荷開始は全商品6日。

FCVで勉強会
荒木が購入、新燃料委に提供



荒木社長（中央）がFCVの概要を説明した

荒木（港区、荒木敬一社長・JX系）は先般、トヨタFCV『MIRAI』を購入した。荒木社長自らハンドルを握り、業務に活用しつつ使い勝手や社会の反応など多面的な情報収集を図っているが、自身が東京石商経営情報新燃料委員会（川端定則担当副理事長）のメンバーでもあることから、有志による視察・試乗会に提供、協力した。

最初に全石連次世代部会長でもある矢島幹也理事長がドライバーを務め、続いてメンバーが交替しながら試乗・同乗した。

意見交換では、「走行性能や乗り心地は全く申し分ない」「とにかく静か」と完成度の高さに共感する一方、「やはり水素ステーションをどう整備するかが大きな課題」「FCV・水素STの両面から、普及戦略目標に見合った迅速かつ大幅な規制緩和が不可欠」などと指摘するとともに、中小組合員の関心・関与を高めるためには、実現可能な具体的かつ確固たる中長期展望が必要との声が相次いだ。

都はオリンピックを機に、都内FCV台数・水素ST数を2020年までに6千台・35ヵ所、25年までに10万台・80ヵ所、30年までに20万台・150ヵ所とする戦略目標を掲げ、今年度も「水素社会の実現に向けた東京推進会議」を2回開催。同石商も初期段階から会議に参画している。

この1年を振り返る 2016

ガソリン小売価格は昨年に続き大幅軟化したが、販売面でのプラス影響は乏しく、燃費向上も重なる厳しい需要環境から過当競争が継続した。一方、VOC排出抑制対策として、給油時にガソリンベーパーを回収する方法を環境省が検討していることを踏まえ、組織を挙げて規制強化に反対する運動を展開。首都のインフラとして災害時にも不可欠な役割を担う組合員・SSの存続を積極的にサポートするとともに、組合実勢の展望を見据えた支部再編の取り組みが始まっている。

市場　地場組合員の苦境続く

都内のレギュラー年平均価格は、前年比で17円安の約123円（資源エネルギー庁週次小売調査、12日現在）。ただ、量販店などの実売価格は10円程度低く、極端な低マージンで需要確保に走った反動などから、地場中小SSの苦境が続いた。

登録乗用車・軽4輪計の保有台数（3月末）は0・2％増の345万台だったが、7区8市が減少するなど地域差も生じている。

HVの相対的増勢が続き、軽比率も2割を突破した中、「保有減少・燃費向上」を踏まえた収益確保対策の必要性が一層高まっている。

組織　「現場」に身近な活動

組合員SS数は直近922ヵ所と、ピーク比での残存率は3割未満まで激減。災害時も視野に入れた安定供給体制を堅持すべく、東京石商・協と都油政連（谷口寿亜会長）が連携し、多様な組織活動を通じて組合員をサポートした。

発券店値付けカード問題では、元売社長宛ての改善要望書を一昨年に続いて提出。神奈川石協の官公需カードシステムも勉強し、多面的な検討を深めた。

また、今年も「大手会」を開催し、大手組合員との交流・対話を図った。

一方、組合員・支部員とSS数の減少が進んだ実態を踏まえ、支部再編への取り組みが始まった。先行して第4方面協議会に属する多摩東、多摩中央、多摩北、南多摩、多摩の5支部が4月に合併し新生「多摩支部」を発足し、組織運営を効率化させた。

また、ボウリング大会を催し支部員同士で親睦を深めたほか、不当要求防止対策連絡会も設置。都内各支部も「現場」に身近な組織活動の企画、実施に努めた。

大災害にも備えたSS網の堅持が不可欠（都総合防災訓練に臨む足立区のSS）

愛知

中部支局
052（321）6001
（名古屋市中区正木3-2-70 愛知県石油会館）

県警から石商へ感謝状
自動車盗の防止協力で

愛　知

自動車盗被害防止協力など多大な功績があったとして、愛知県警本部から愛知石商（宇佐美三郎理事長）に「感謝状」が贈られた。

愛知は自動車保有台数513万台（二輪車含む）の全国一の〝車王国〟ということもあり、自動車や部品の盗難も多発していることから県警生活安全部は県石商の会議に幹部らを派遣、その実態を詳細に講演すると同時に被害を未然に防ぐため、SS現場での協力を要請。組合では、盗難被害の多いトヨタのプリウス、レクサス、ランドクルーザーなどを中心に、被害防止を呼び掛けるチラシをSSでドライバーに配布した。

県警からの感謝状贈呈は同本部で行われ、警視正・鈴川信視生活安全部長から県石商の浅田俊広専務理事に手渡された。鈴川部長は「愛知で車を盗み関東や関西で解体して海外に運ぶという犯行が多く、その発生件数は全国ワースト1位だったが、今年は刑事部の相次ぐ犯行グループ逮捕に加え、被害防止の啓発活動などの成果で件数は大幅に減少している。ワースト4位まで数字を減らすことができたのも、みなさんの理解と協力によるところが大きい。今後も家に鍵を掛けるように、車にもしっかりとした防犯対策をするよう給油所現場で運転者に呼びかけてほしい」と、一層の協力を求めた。

鈴川生活安全部長から感謝状を授与される浅田専務理事（右）

第4Q軽油3エリアとも中日本商事落札
名古屋市交通局

名古屋市交通局が9日に実施した市バス向けの軽油落札結果（1～3月）によると、3エリアとも中日本商事が落札した。

落札金額は浄心・中川・稲西の3営業所を含む（ア）エリアで使用する1241㌔㍑分は㍑79・4円、鳴尾・緑・野並・御器所の（イ）エリア1060㌔は㍑79・6円、猪高・大森・如意の（ウ）エリアの1174㌔分だと㍑79・8円。価格はいずれも軽油引取税込みだが消費税は含まれていない。

一方で名古屋シェル石油販売は3エリアとも㍑83・1円で応札したが落とせず、三徳商事とキグナス興産は辞退した。

次世代あり方研修会
顧客満足度第1に従業員満足向上を

次世代SSのあり方・方向性に関する研修会が先ごろ名古屋市内で開かれ、垣見油化（東京・千代田区）の垣見裕司社長（写真）が「どうなる　どうする　SS業界2017～真の人材育成で勝ち残る」をテーマに講演した。

垣見氏は、熊本地震における供給対応について評価、自社における防災対策なども交えながら、災害への対応策の必要性を強調した。また、水素エネルギーについては「水素については関心を強め知識を深めてほしい。実際に水素社会が来るかどうかは、規制緩和や技術革新を見極めてからでいいが、〝水素スタンドの普及はSS業界に任せろ〟とアピールすることが大事」と述べた。

元売再編、次世代車の増加に伴うディーラーによる囲い込み強化が進むなど、厳しさを増す環境について触れたうえで、「そうした動きに惑わされず、お客様から見た自社SSの魅力度アップに全力を尽くすべき。大事なのは、ガソリン需要が半減しても維持存続していけるようなSSづくりにまい進すること。儲けるよりSSへの信頼度、顧客満足度を高める大切さを第一に考えてほしい。そのためには従業員のやる気や満足度を高める、給与システムなどやりがいのある制度づくりで、スーパー社員を育てることが大事」と、アドバイスした。

この1年を振り返る 2016

組合員、SS数とも全国トップクラスの愛知の石油販売業界は、需要減に伴う経営の厳しさに加え、コストコSSの進出で常滑における員外PB間との不当な安売り合戦と、それに端を発する全県的な市場混乱に悩まされた1年だった。組織的には改選期の総会で宇佐美三郎理事長以下、多くの役員が続投して結束を一層強化。官公需の充実や次世代に向けての取り組みなど、きめ細かな組合運営で成果を上げた。

組織　宇佐美執行部を3選

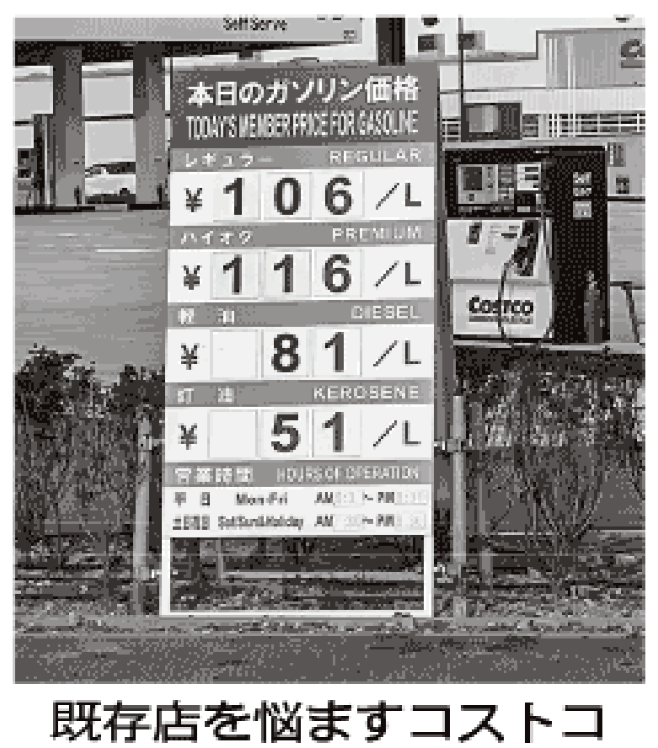
改選期となった5月の総会は、OBらも含め組織全体が宇佐美体制3期目を支援。太田啓二油政連会長、竹尾武比古経営部会長ら続投組を中心に執行部体制を整え、VOC問題などに一丸となって立ち向かった。全国的な組合員減少の波は愛知でも止めることはできず、この1年で11人減の586人、SS数も16ヵ所減り1201ヵ所となるなど、組織上は厳しさを増している。その一方、8月には石油会館1階に県の福祉関係団体をテナントとして誘致して新たな収入源を確保。事務局の人件費も削減するなど効率運営に努力した。

また、官公需への取り組みも強化。既に受注している役所などとの価格の見直し、県警本部との契約が一般競争入札にならないよう、できれば組合と随意契約できるよう警察活動へ協力。地域社会への貢献に力を注いだ結果、豊橋石協は中小企業長官表彰を受賞。県石商は県警生活安全部長から2年連続で感謝状を授与された。

市場　〝常滑問題〟で積極申告

組合の訴えで常滑のコストコとPBバロンパークに対し、年の瀬に公取委から不当廉売の「警告」が出されて迎えた今年は、新年早々から三河や尾張などでもセルフを中心に局地戦的な低価格販売が相次ぎ、既存SSを苦しめた。警告処分が出されてもその姿勢を改めないコストコとバロンに対し、今年に入ってから不当廉売で9回も（昨年は開店後1ヵ月余りで6回）公取委へ調査依頼を申告するなど、組合としては前例のない厳しい対応で臨んだ。

それでも両社は全国的にも最安値と見られるような販売姿勢を、年間にわたって崩さないまま年末商戦に突入。ショッピングセンターのイオンが常滑で、スーパーマーケットのバローが稲沢で、カーコンビニ倶楽部が大府で既存店を10～20円下回る安値で乱売。既存系列店は、これらPBに仕掛けられた混乱に悩まされたまま年を越しそうだ。



既存店を悩ますコストコの看板

本日のガソリン価格
TODAY'S MEMBER PRICE FOR GASOLINE
レギュラー REGULAR ¥106/L
ハイオク PREMIUM ¥116/L
軽油 DIESEL ¥81/L
灯油 KEROSENE ¥51/L
営業時間 HOURS OF OPERATION
Costco

計量機、お売りください。

ガソリンスタンドの廃業や、計量機の入れ替えで不要になった計量機は、
是非日本スタンドサービスにお売りください。
無料でお見積りいたしますので、まずはお気軽にお電話ください。

買取対象製品
・固定式計量機
・ポータブル計量機
・釣銭機
・コンプレッサー
・ノンスペース計量機
・ミニローリー
・カードリーダー
・バキュームクリーナー　他

日本スタンドサービス㈱
全国出張買取

◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索

無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889

古い部品でお困りの方、ご一報ください

日本スタンドサービスでは、計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非一度弊社へご相談ください。
お客様のお悩みを解決できるよう尽力いたします。

また、その他幅広い事業展開・充実のサービスで、給油所運営全体に貢献してまいります。

燃料機器販売
計量機検定・修理
中古計量機・部品販売
地下タンク・移動タンク漏えい検査
高精度油面計・電気防食工事
給油所新設・廃止工事

給油所運営のトータルパートナー　日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　大阪府東大阪市中新開2丁目11-17　Tel.072-968-2211 Fax.072-968-3900
東京営業所　東京都目黒区碑文谷2丁目21-6　Tel.03-5721-4789 Fax.03-5721-4787

中国

中国支局（広島市南区的場町1−7−20 広島県石油会館2階）
082（264）6623

県外業者プリカ表示に呆然

不満募らす〝異次元安値〟

広島・熊野

県外業者の看板（12月7日時点）

広島市郊外の熊野地区では、県外から進出した販売業者と広島市内に本拠を構える近くのSSが掲示する低価格のプリカ看板に対する不満が絶えない。

現在は20円程度上昇したものの、一時は3桁を割る〝異次元価格〟の登場は、周囲の業者を呆然とさせた。

地元業者は当時を振り返り、「いくらプリカ価格とはいえ、あまりにも安過ぎる。通常では考えられない」と、一般販売店の仕切りすら大幅に下回る水準の小売価格に対し憤りを隠さない。

県外から進出してきた業者は、当初からプリカ価格を大きく表示し、すぐ近くにある地元SSもそれに合わせた価格を表示するなど、これまでにも問題視されてきた。

地域内にあるSSでは「あれだけ安い看板を出せば、給油客はどうしても流れていく」「セルフでも少なくてもマージンとして5円以上は必要だが、あの価格に追随していけば運営できなくなる」など、先行きの経営を不安視する。

現在は上昇したとはいえ、年末年始を迎える中、依然残る価格差に、地元からの不満の声は絶えない様子だ。

中核SS 自家発点検を終了

広島

広島石商（大野徹理事長）が今年度事業として進めていた中核SSの自家用発電機の点検が終了した。

福山市内の中核ＳＳでの点検

同石商では毎年、中核SSに設置してある発電機の点検を実施しており、今年度は福山市内の中核SSの点検によって県内すべての発電機点検を終えた。

同石商では「最近は台風や地震などによるSSでの被害や停電による被害も各地で発生しており、特に停電になった時に役立つ発電機を点検、整備しておくことは重要」としており、「来年度も引き続き実施し、災害への備えをしっかりとしておきたい」としている。

10月の総販売量 前年比4.3％減少

中国経産局

中国経産局がまとめた中国地域10月の石油製品販売量は前年同月比4・3％減の132万4000キロリットルとなっている。

ガソリンやA重油がわずかながら前年を上回ったものの、数量の多いナフサはじめ灯油、軽油などが前年を下回ったため。県別では岡山、広島、鳥取3県が前年を上回ったが、山口、島根両県が下回っている。特に山口県はナフサの大幅減によって前年比45・4％減となっているのが目立つ。

来月、次世代エネセミナー

17日に広島で

広島市と広島市産業振興センターは来年1月17日午後1時30分から広島市西区民センターで「次世代エネルギー産業創出セミナー」を開催する。定員300人で、参加料は無料。

当日は、最初に藤川龍三広島トヨペット副社長と藤本守之岩谷産業水素本部シニアマネージャーが、水素に関する取り組みと東広島市に移動式水素ステーションを建設することになった目的・経緯と今後の展望について説明する。

次いで山本睦也中国工業顧問がライナーレス複合容器の先進技術、樹脂性ライナー低コスト複合容器蓄圧器の開発、宇宙用燃料電池システム超高圧複合容器先進技術について説明。

最後に杉山正和東京大学大学院工学系研究科教授が、超高効率太陽電池と水分解による高効率水素製造の実例紹介と将来展望について話すことになっている。

受講希望者は1月13日までにFAX（082−245−7199）かメール（tamura−m@itc.city.hiroshima.jp）で産業振興センター（担当・田村）に申し込む。

この1年を振り返る 2016

中国地方の市場は需要減の中にあって、低価格販売する業者の影響もあり非常に厳しい状況で推移した。中でも全農系SSがある山口県下関市や島根県安来市などは、常識を外れた価格によって収益面に大きな影響を受けた年でもあった。一方、組織面では全石連中国支部をはじめとして5石商が組合員の健全経営を目指した取り組みをより積極的に展開、同時に組合組織の強化にも取り組んだ。さらに広島県石油業青年部や岡山県軽油引取税納税組合ではトップ交代があった年となった。

組織 中国厚年の解散を決議

組織面で動きがあったのは、広島県石油業青年部部会長が小河政彦氏から西岡直彦氏（ハゼヤマ常務広島支店長・JX系）に代わり、「働きがい、やりがいの創出」をスローガンに西岡新体制がスタートした。

また、岡山県軽油引取税納税組合では組合長が木村容治氏から小出総太郎氏（東真産業社長・JX系）に代わって新たなスタートを切った。さらにSS業者が会員となっている中国地方石油業厚生年金基金の解散が決議され、厚生労働大臣から解散が認められた年でもあった。

市場 全農系販売政策に困惑

市場面では、これまでのPBや量販指向業者の低価格販売に加え、今年は特に全農系SSの低価格販売に大きな影響を受けた1年となった。中でも下関市内では山口市内との価格差が10円ともなった時期もあり、地元では非常に厳しい状況に追い込まれ、すでに廃業するSSも出ているうえ、今後廃業を検討するSSも増えてきている。このため、下関地域の業者は地元選出の国会議員に常識とは思えない全農系SSの実情を詳細に説明し、「公取委にも強い措置を講じてもらうように要請してもらいたい」と強く訴えた。

こうした全農系SSがある安来市などでも同様に低価格販売に苦しめられ、公取委に申請しても依然として低価格販売を続けていることから、その対応の甘さに不満が大きく膨らんだ。

SSにとって稼ぎ時であるゴールデンウィークは、中国地方南部を走る山陽自動車道では走行車両も例年より少なく、多くのSSが「前年並み」「前年比マイナス」といった状況に終わった。ただ、山陽地域と山陰地域を結ぶ「やまなみ街道」（中国横断自動車道尾道松江線）は観光客を中心に通行車両も大幅に増え、沿線にある道の駅やインターチェンジ近くのSSはその恩恵を受けた年ともなった。

観光客などで賑わったやまなみ街道沿いの道の駅

11月市況概況

ZENSEKI

11月の原油価格は3ヵ月ぶりに値下がりした。原油価格が下落したが、ガソリン卸は現物、先物はいずれも値下がり、系列仕切りは上げ下げが分かれた。一方、ガソリン小売市況は強含んだため、ガソリン小売の粗利推計（全国平均）は前月比で良化し、2桁台を維持した状況。

業転格差6.8円に拡大
粗利6ヵ月連続2桁

卸 系列仕切りは各社まちまち 現物高・先物安広がる

国内卸価格のベースとなる中東産原油（FOB）11月価格平均値（ﾄﾞﾙ換算）は前月比1・9円安の30・39円水準、3ヵ月ぶりに下落した。ガソリン税と石油石炭税を加算し国内向けガソリン卸値に換算すると86円水準。

週決めフォーミュラ連動ベース推計のうち、ガソリン陸上現物指標（京浜仕様・近距離ケース）だと101・9円（前月比0・8円安）、一方、東京バージ先物では98・5円（1・1円安）に下落した。この結果、3・4円の現物高・先物安となった。中間3品の現物指標は灯油51円（5・1円高）、軽油48・3円（2・8円高）、A重油43・8円（1・2円高）となり、いずれも値上がりした。

輸入ガソリン推計値は98・7円（0・9円安）と下落。中間3品の推計値は灯油44・9円（1・4円安）、軽油45・4円（1・3円安）となり、いずれも値下がりした。

系列仕切りはガソリンが前月比でEMG系列0・5円安、JX1円安、出光1円高、昭シェル1・5円高と上げ下げが分かれた。中間3品は、灯油が出光は2・3円高、昭シェル4・6円高、JX4・9円といずれも値上げ、軽油も出光は1・7円高、JX2・9円高、昭シェル3・5円高となった。

EMG外販予想値およびJX先行仕切りから推計した11月のノンブランド玉月平均96・4〜100・4円の水準。11月調査の東京石商の仕切りアンケートでは系列仕入れは前月比2・3円安の104・7円、流通卸（業転）は3円高の96・5円。東京商品取引所の12月納会価格は東京バージガソリンが前月比0・8円高の98・8円、中京ローリーガソリンは0・6円高の98・3円。

ガソリンについて資源エネルギー庁発表の卸価格調査の全国平均を一般的な特約店仕切の平均値とし、そこから現物指標の平均値（配送料1・5円加算）を引いた、いわゆる業転格差は推計6・8円。

小売 ガソリン粗利全県で良化 いまだ10円割れ6県

資源エネルギー庁調査によるレギュラーガソリン小売市況11月の全国平均は前月比1・6円高の126・1円、最低価格は1・4円高の121円に値上がり。安値SSの代表格であるジョイフル本田は0・2円安の111・7円に値下がり。

ガソリン小売粗利推計は全国平均で前月比1・5円良化の12・5円となった。仕切価格が小売市況より先に下落したことが要因で、6ヵ月連続で2桁マージンを維持。エリア別では前月比で47都道府県のすべてで良化した。最も上昇したのは岡山の3・4円高、逆に低調だったのは沖縄の0・3円高。一方、前年比は0・7円悪化が続く。29都道府県で悪化し、特に和歌山は5・6円、高知も4・9円と大幅に悪化した。

粗利推計の10円割れは6県に減少した。最低は群馬の8・6円となった。この粗利推計幅の算定基準としているエネ庁小売市況調査はフルSSも対象に含まれるため、セルフの多い激戦地の実勢値はより低マージンに陥っているとみられる。

軽油の小売全国平均は前月比1・4円高の105円に値上がり。粗利推計は前月比1・5円悪化、前年比0・1円良化の17・3円。

また、灯油店頭（ﾘｯﾄﾙあたり）は前月比1・5円高の66・1円。粗利推計は前月比2・9円悪化、前年比6・2円悪化の9・4円。

週決め仕切りコスト・月間推計値（近距離ケースSS届け、消費税別:¥/ﾘｯﾄﾙ）※現物推計は陸上現物ベースの計算値

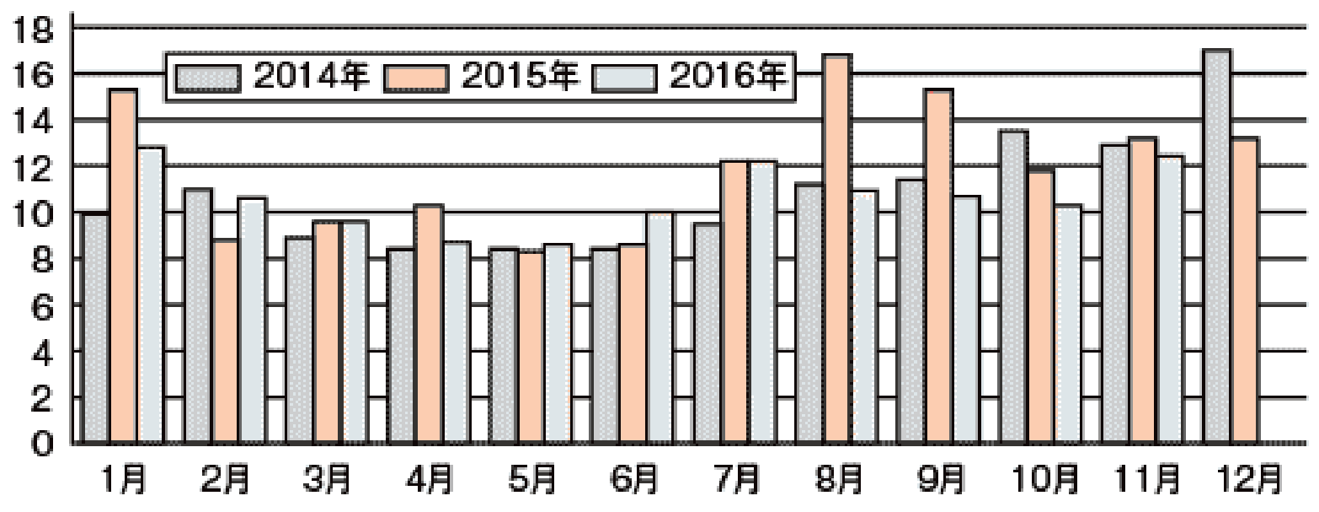
	ガソリン		灯油		軽油		A重油
	現物推計	TOCOM	現物推計	TOCOM	現物推計	TOCOM	現物推計
8月	100.6	96.3	43.3	39.7	44.0	40.3	41.7
9月	101.9	96.9	43.3	41.0	43.9	41.0	41.5
10月	102.8	99.6	45.9	46.0	45.5	43.1	42.6
11月	101.9	98.5	51.0	48.1	48.3	44.7	43.8
12月最近値	103.6	103.3	56.1	53.8	50.3	48.1	45.3

原油・ガソリン系列仕切り変動幅の推移（前月比）　円/ﾘｯﾄﾙ

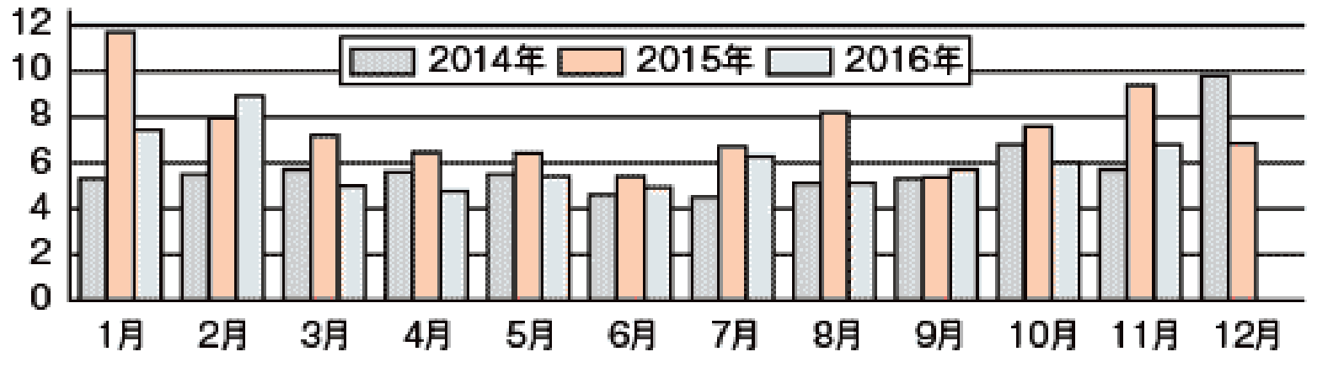
	原油	JX	EMG	出光	昭和シェル
7月	▲2.7	▲2.3	▲3.2	▲1.7	▲2.7
8月	▲0.1	0.1	▲0.3	0.9	0.6
9月	0.1	1.5	1.7	2.1	2.2
10月	3.9	2.4	0.8	3.5	▲0.1
11月	▲1.9	▲1.0	▲0.5	1.0	1.5

※JX、出光、昭和シェルは公表値、EMGは推計値、原油は中東産原油（円建て）

ガソリン小売粗利の推移



系列/業転格差



都道府県別小売粗利の推移（11月）

	ガソリン			灯油		
	粗利	前月比	前年比	粗利	前月比	前年比
北海道	10.8	1.2	▲0.4	7.6	▲2.3	▲4.0
青森	11.5	2.7	▲0.3	4.2	▲1.8	▲4.8
岩手	10.0	2.5	▲0.1	1.9	▲1.8	▲6.2
宮城	12.2	1.8	2.6	4.3	▲2.8	▲7.3
秋田	10.8	2.5	3.9	3.9	▲2.3	▲4.9
山形	13.7	1.9	▲2.4	5.8	▲1.9	▲7.6
福島	13.0	2.2	0.9	4.2	▲2.7	▲7.0
茨城	9.3	2.1	0.2	5.0	▲2.0	▲4.4
栃木	10.1	1.2	▲0.4	8.4	▲2.6	▲5.3
群馬	8.6	1.1	0.3	6.2	▲2.8	▲4.4
埼玉	9.0	1.5	0.1	6.1	▲3.2	▲6.3
千葉	9.6	1.5	▲1.3	8.4	▲2.9	▲7.8
東京	14.6	0.9	▲1.1	19.3	▲3.4	▲5.8
神奈川	10.6	1.5	0.2	12.3	▲3.1	▲5.1
新潟	9.7	0.8	▲1.6	8.4	▲3.2	▲4.9
長野	13.6	1.8	▲1.4	5.6	▲2.9	▲7.7
山梨	10.7	1.5	▲0.6	6.7	▲3.2	▲7.6
静岡	13.3	1.7	▲1.3	11.4	▲3.5	▲7.3
愛知	12.1	1.1	▲0.0	11.4	▲3.5	▲7.1
岐阜	15.8	2.1	▲0.5	7.7	▲3.5	▲8.0
三重	13.0	1.8	0.4	11.5	▲2.5	▲3.4
富山	11.6	0.9	▲2.0	10.9	▲2.4	▲4.8
石川	11.4	2.6	0.6	5.5	▲2.7	▲3.9
福井	12.1	1.4	0.1	7.6	▲1.9	▲6.4
滋賀	13.9	1.9	0.4	9.1	▲3.3	▲9.1
京都	13.8	1.3	▲2.6	13.8	▲3.1	▲6.6
奈良	12.3	1.3	▲0.2	7.1	▲1.7	▲6.3
大阪	12.9	1.7	0.3	10.1	▲2.6	▲6.6
兵庫	11.3	1.5	▲1.3	7.4	▲3.8	▲8.9
和歌山	12.4	1.3	▲5.6	8.9	▲3.3	▲9.5
鳥取	9.4	1.0	▲2.2	8.9	▲3.1	▲8.1
島根	13.2	0.8	▲2.9	15.3	▲3.3	▲5.5
岡山	12.1	3.4	0.5	6.6	▲2.6	▲5.8
広島	11.5	1.3	▲1.9	10.7	▲3.6	▲5.4
山口	12.5	0.9	0.1	11.5	▲2.9	▲5.7
徳島	11.8	2.4	3.0	5.8	▲3.2	▲6.8
香川	13.6	2.2	▲1.9	6.9	▲2.1	▲4.3
愛媛	13.9	1.6	▲1.0	10.0	▲3.6	▲7.3
高知	14.3	2.8	▲4.9	8.4	▲4.4	▲9.1
福岡	14.5	1.4	1.6	10.2	▲2.2	▲4.8
佐賀	17.0	1.7	▲1.0	13.1	▲3.0	▲8.8
長崎	19.7	1.3	▲1.8	15.9	▲3.5	▲7.0
熊本	13.0	0.8	1.5	8.7	▲2.5	▲6.0
大分	16.5	1.4	▲0.3	14.2	▲2.7	▲6.2
宮崎	12.7	1.7	▲1.9	12.2	▲3.2	▲8.7
鹿児島	18.3	1.4	▲3.9	17.9	▲2.6	▲5.8
沖縄	18.7	0.3	1.6	21.9	▲1.2	▲1.0
全国	12.5	1.5	▲0.7	9.4	▲2.9	▲6.2

※小売粗利推計:エネ庁公表週市況月平均値−同月卸価格（本紙推計）

平成28年度 補正予算「住民拠点SS整備事業」事前申請がスタートしました　TATSUNO

緊急用発電機の発売から11年。
タツノはこれからも災害対応製品の提供を通じて、地域社会への貢献をお手伝いしてまいります。

QF-1001（標準型）

TATSUNO
緊急用発電機
TATSUNO
AC200V 三相
AC100V 単相

すでに全国で2,472台ご採用いただいております
（2016年11月末現在）

QF-1001（架台型）

DGM80BMK/TAT（中型）

緊急用バッテリー可搬式計量機

上記以外にも豊富なラインナップを取り揃えております。詳細は、弊社支店・営業所にお問合せください。

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　http://www.tatsuno.co.jp/　℡ 050-9000-0567（営業本部営業部）